（別紙３）

# 公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス　ガンバプラス | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年7月25日 | ～ | 2025年9月1日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | １７名（１４家族） | （回答者数） | １５名（１２家族） |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年7月16日 | ～ | 2025年8月18日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | ６名 | （回答者数） | ６名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年10月8日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 子どもたちが安心して過ごせる環境を日々整えている。 | 日々の支援を通じて、環境による課題の影響が見られる場合に、子どもさんや保護者様のニーズや課題に応じて、情報共有し職員全体で意見を出し合いながら、その都度検討し改善を図っている。（実例として、視覚情報の掲示、個々のスケジュール設定等） | PDCA（Plan：計画、Do：実行、Check:評価、Action：改善）サイクルを活用しながら、環境整備について検討し、日々改善を図っていく。 |
| 2 | 保護者に寄り添い密な連携。 | 事業所での様子や子どもさんの日々の変化（新しく出来たこと、成長が見られた点など）を申し送りの際や提供記録などを通して保護者様と共有している。その際に家庭での様子や日々の気付き、困り事などの話があれば、傾聴していきながら、必要に応じていつでも相談に応じれるようにしている。 | 特性や家庭環境など様々なケースの相談事に最低限でも対応できるように職員１人１人が知識や相談技術の向上を図れるように研修等を通してスキルアップを図っていく。 |
| 3 | 支援プログラムの充実。 | 子どもさんに合わせた個別活動と集団活動を設定しながら日々プログラムを構築している。個別活動については毎日時間を設け、子どもさんの能力や意欲、意思を尊重した課題を設定し内容が偏ったり固定化しないようにしている。<br>集団活動では、子どもさんがやってみたいと意欲が持てるような支援プログラムを組み立てて実施している。 | 集団活動では子どもさん一人一人の意思決定を尊重できるように選択して取り組める活動を取り入れたり、子どもさんの意見を吸い上げた活動も取り入れていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | ホームページやSNS（インスタグラム）などによる情報発信の取り組みを行っているが保護者に伝わり切れていない。 | ホームページへのブログ掲載やインスタグラムの運用などについてはアドレスやQRコードをパンフレットへ掲載しているが、保護者様に向けた周知が最初の段階のみで常時確認できるような情報提供が不足しているため。 | 玄関にホームページやインスタグラムの情報（アドレスやＱＲコード）などを掲載したポスターやチラシを作成し、常時掲示したり、配布を通して保護者様が確認できる機会を設けていく。 |
| 2 | 地域との交流が少ない。 | 開所から1年経たない事業所であり、まだまだ支援を含めて様々取り組みを進めている段階にある。（買い物体験や外食体験、課外活動などの取り組みは行ってはいるがまだまだ限定的である。） | ２年目３年目と段階的に事業所としての取り組みを計画していきながら、徐々に地域と交流などを含めた連携を図っていく。 |